

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月26日			記入者	内線 5332
部 名	農業委員会事務局	課 名	農業委員会事務局	課長名	山崎 有正
事務事業名	農地違反転用等事業				
予算上の事務事業名	農地違反転用等事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			31530	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第5節 都市農業の振興				事業開始年度
施 策 名	第3施策 農地の保全と農業基盤の整備				平成14年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
農地法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 対策 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
農地の利用状況及び利用形態を把握し、農地法違反の是正並びに違反転用の防止を図る。 平成14年度～17年度事業				市街化調整区域内の農用地 対象 316ha	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
違反転用の早期発見、違反地の現況把握を行うための農地パトロールを2名の再任用職員により実施し、神奈川県及び庁内関係部課と連携して、違反者に対して違反の是正指導を実施した。 農地転用違反等の課題の解決方法等を検討する農地違反転用等対策会議(助役、庁内関係部課及び神奈川県で構成)を17年3月に実施した。 農地パトロール ・農地巡回パトロール 年間、農用地を主に週1日実施 ・農地一筆調査 農用地(4月7日～5月26日) 違反是正指導 年間 指導件数 72件					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	125	150	93	88	0
一般財源	125	150	93	88	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	850	985	1,255	1,255	0
事業コスト合計(a)	975	1,135	1,348	1,343	0
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	農地違反転用等事業			対象名称(単位)	是正指導件数(件)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	125	150	93	88	0
対象数	99	116	72	150	0
単位あたり経費(円)	1,263	1,293	1,292	587	
前年度比		1.02	1.00	0.45	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	是正指導率		指標式と指標の説明	当該年度違反転用指導件数÷当該年度違反総件数×100 是正指導率から達成度をみる	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	10.0	16.0	22.0		
目標	10.0	16.2	22.4	22.9	0.0
目標達成度	1.00	0.99	0.98		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	違反転用件数前年比		指標式と指標の説明	当該年度違反総件数÷前年度違反総件数×100 違反転用総件数について前年度を比較しての目標達成度	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	183.3	117.2	129.3		
目標	199.0	99.0	96.0	96.0	0.0
目標達成度	92.1	118.4	134.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		違反農地の是正にあたり、県職員ともども指導に努めてきており、重点指導地区である田名地区においては違反是正が進んだ。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
現在、田名地区を重点に違反指導しているが、他の優良農地内の違反農地も是正指導する必要がある。このためには、人員の増が必要。			<ul style="list-style-type: none"> 違反是正した農地を農地として再活用すること。 指導にあたっては悪質な利用者もいることから警察力が時に必要であること。 農地法の転用する等の権限を県知事から委譲を受けるにあたっては、農地法違反是正も委譲されることから人員確保が必要である。 		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			